道路トンネルの個別施設計画



国道42号　小阪トンネル

2026年11月
中部地方整備局

目次

１．個別施設計画の背景と目的 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １
（１）背景 ・・・ １
（２）目的 ・・・ １

２．管内の道路トンネルの状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２
（１）管内道路概要 ・・ ２
（２）計画の対象道路トンネル ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２
（３）道路トンネルの種別 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３
（４）道路トンネルの年齢構成 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３

３．管内の道路トンネル点検の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４
（１）管内の道路トンネルの健全性の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４
（２）高齢化が進む道路トンネルの損傷状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５
（３）点検支援技術の活用による点検の効率化 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６

４．道路トンネルのメンテナンスサイクルの基本的な考え方 ・・・・・・・・・・・・・・ ８

５．個別施設計画の基本方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ９

６．個別施設計画 ・・ １１

７．管内の修繕等措置実施状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １２

８．具体的な補修事例 ・・・ １３

※本資料については、2026.8道路メンテナンス年報を基に作成している

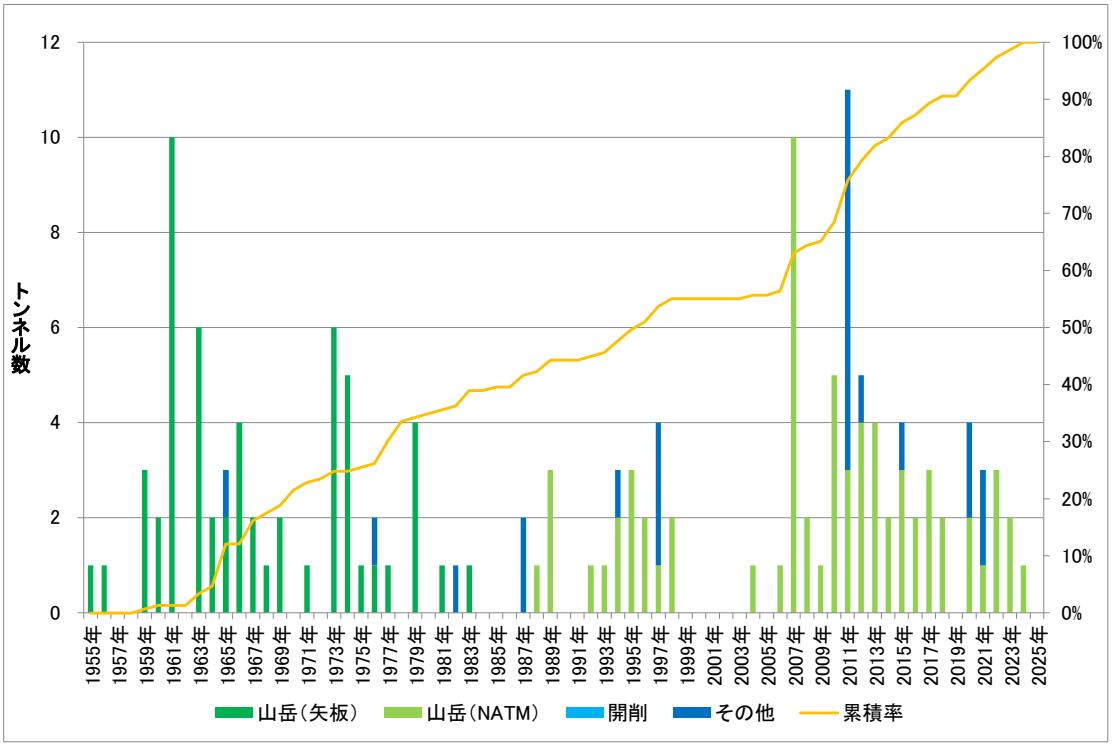
１．個別施設計画の背景と目的

(1)背　景

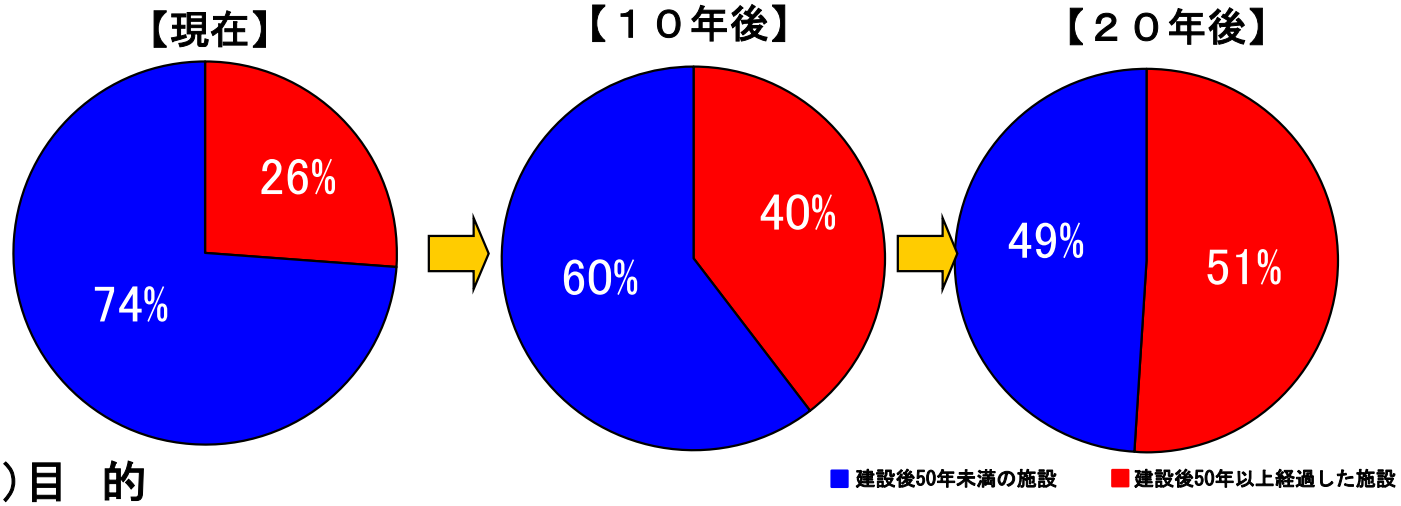
中部地方整備局が管理する供用中の道路トンネルは、149本(2026年3月末現在)あり、建設後の平均経過年数は約32年、また、建設後50年を越える道路トンネル本数の割合は、現在の26%が、10年後には40%、20年後には51%となり、高齢化が急速に進んでいく状況です。

更に、コンクリート片の剥落などの事象が散見され、定期点検による確実な状態把握(早期発見)、点検結果に基づく確実な対策(早期補修)が必要となっています。

建設年別の道路トンネル箇所数分布



建設後５０年以上の道路トンネル箇所数の推移



(2)目　的

定期点検による道路トンネルの状態の把握、予防的な修繕を着実に進め、道路トンネルのライフサイクルコストの縮減を図りつつ、重要な道路ネットワークの安全性・信頼性を確保していくために個別施設計画を策定します。

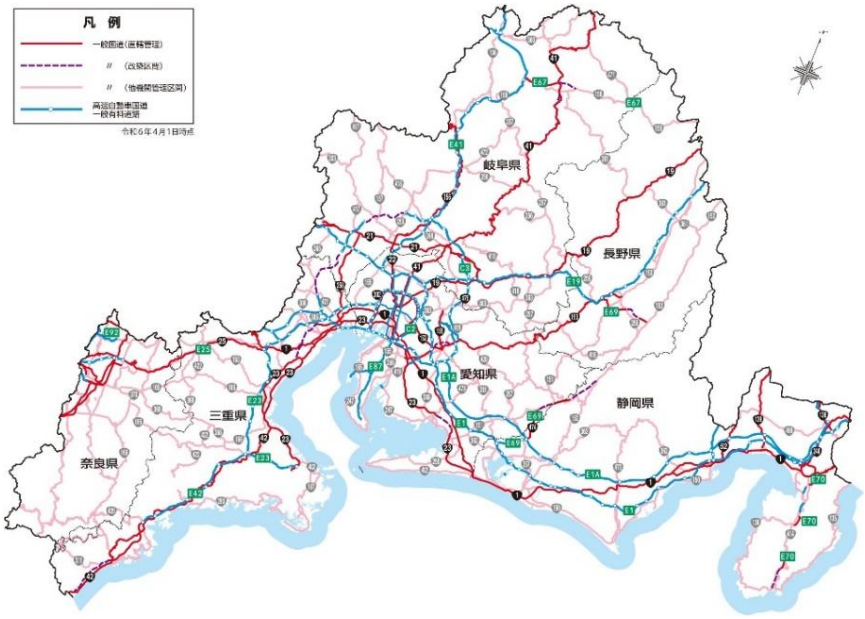
※個別施設計画：点検結果に基づき、必要な対策内容・実施時期等を定めた計画

2．管内の道路トンネルの状況

(1)管内道路概要

中部地方整備局では、一般国道等21路線（総延長1，887km）を管理しています。
（2026年4月現在）

中部地方整備局管内図



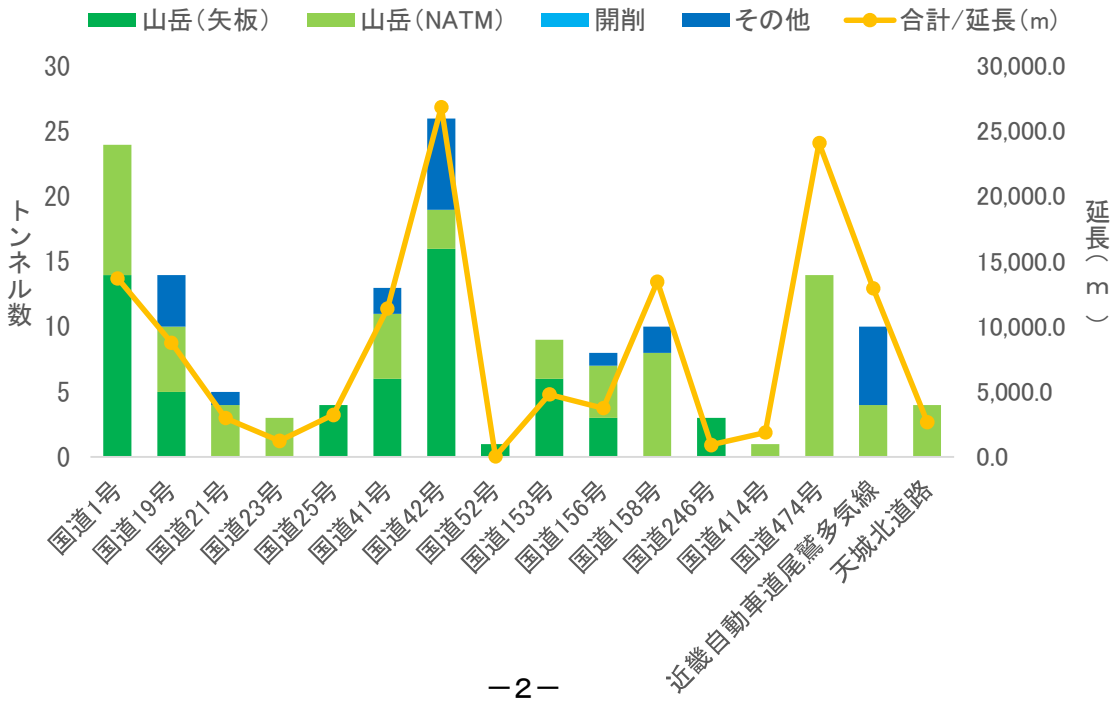
路線名	延長	管理事務所
国道１号	374km	沼津、静岡、浜松、名古屋、三重
国道１９号	179km	名古屋、多治見、飯田
国道２１号	98km	多治見、岐阜
国道２２号	28km	名古屋、岐阜
国道２３号	227km	名古屋、三重
国道２５号	58km	三重、北勢
国道４１号	212km	名古屋、岐阜、高山
国道４２号	168km	紀勢
国道５２号	19km	静岡
国道１３８号	17km	沼津
国道１３９号	37km	静岡
国道１５３号	124km	名古屋、飯田
国道１５５号	32km	名古屋
国道１５６号	75km	岐阜
国道１５８号	26km	岐阜、高山
国道２４６号	36km	沼津
国道２５８号	42km	三重、岐阜
国道３０２号	59km	名古屋
国道４１４号	9km	沼津
国道４７４号	48km	浜松、飯田
近畿自動車道紀勢線	21km	紀勢
合計	1887km	

(2)計画の対象道路トンネル

中部地方整備局管内の道路トンネルは16路線、149本、総延長約133kmです。
（2026年3月末現在）

路線毎では、42号が最も多くの本数（26本）を有しています。また、延長でも道42号が最も長い路線となっています（延長約27km）

中部地方整備局管内の道路トンネル数



2．管内の道路トンネルの状況

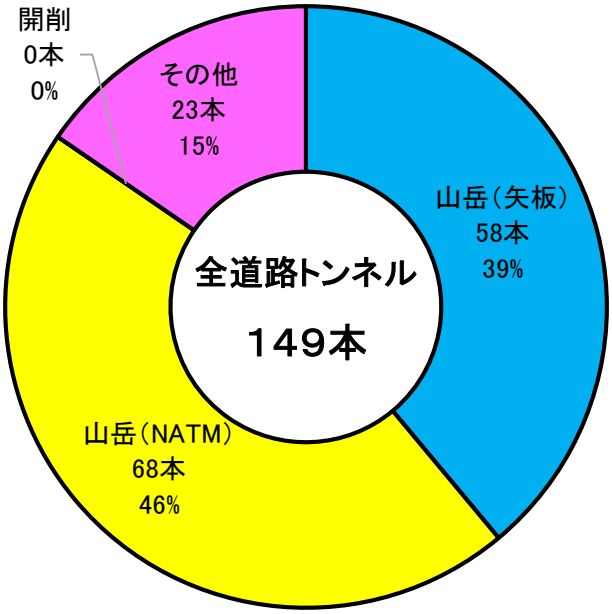
(3)道路トンネルの種別

中部地方整備局が管理する道路トンネルの施工方法別の内訳は以下のようになっています。

山岳工法(矢板)：	58本
山岳工法(NATM)：	68本
開削工法：	0本
その他：	23本

（2026年3月末現在）

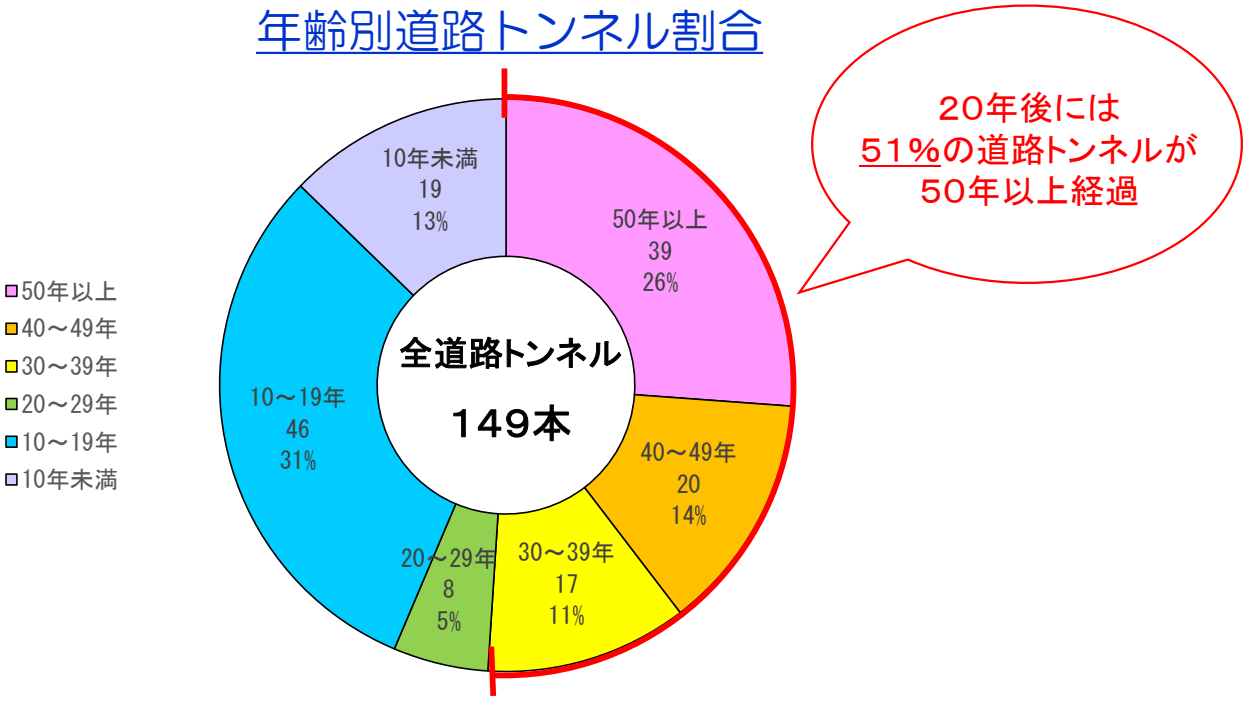
道路トンネルの現況（施工方法）



(4)道路トンネルの年齢構成

中部地方整備局における建設後50年以上を経過した道路トンネル数は、現在39本(26%)ですが、20年後には約半数の道路トンネルが50年以上となります。

年齢別道路トンネル割合



3．管内の道路トンネル点検の状況

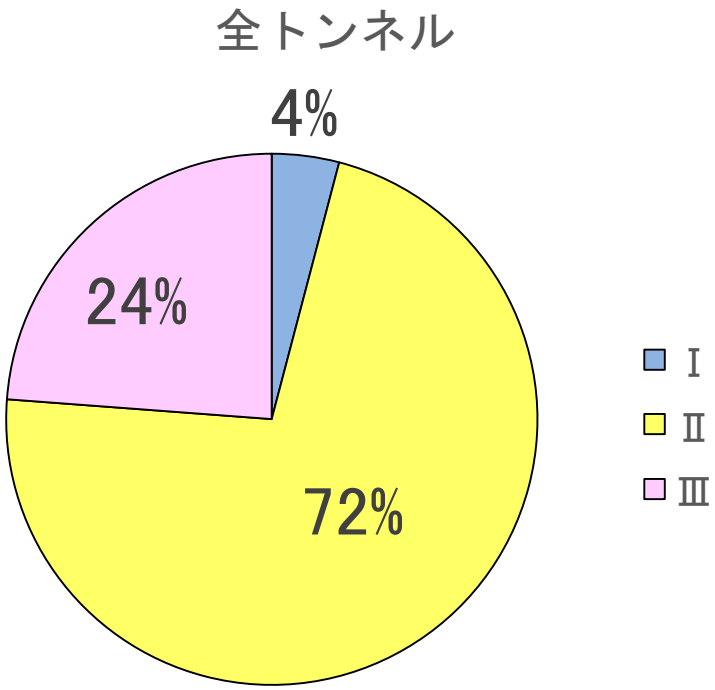
（1）管内の道路トンネルの健全性の状況

中部地方整備局管内の直轄国道の道路トンネルでは、1日または2日に1回の頻度で道路パトロール車による定期巡回及び5年に1回の定期点検等（近接目視、打音及び触診）により、道路トンネルの健全性を確認しています。

道路トンネルの定期点検は、定期点検要領（道路トンネル定期点検要領（国土交通省　道路局国道・技術課　令和6年9月））等に基づき行い、結果については、4段階で区分します。

中部地方整備局で管理する道路トンネル149本について、2025年度までの最新の点検結果は、判定区分Ⅰ：6本、Ⅱ：106本、Ⅲ：35本、Ⅳ：0本となっています。

道路トンネルの健全性の診断の判定区分



対策区分と判定の内容

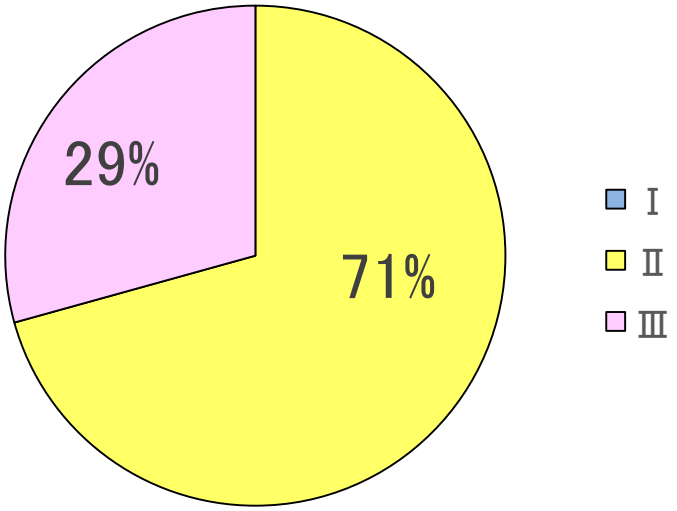
判定区分	判定の内容	
	区分	定義
Ⅰ	健全	道路トンネルの機能に支障が生じていない状態
Ⅱ	予防保全段階	道路トンネルの機能に支承が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
Ⅲ	早期措置段階	道路トンネルの機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
Ⅳ	緊急措置段階	道路トンネルの機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

3．管内の道路トンネル点検の状況

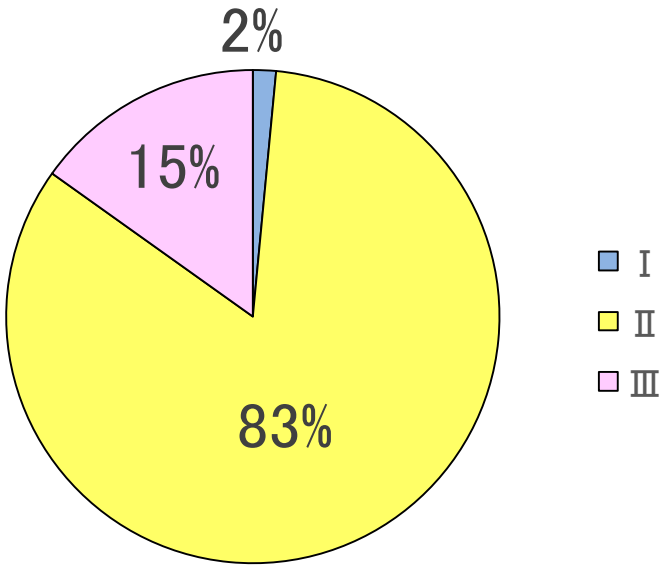
(2)管内の道路トンネルの健全性の状況

工法別の診断結果においては、山岳(矢板)が約29%(17トンネル)、山岳(NATM)で約15%(10トンネル)、開削で0%(0トンネル)、その他で35%(8トンネル)がⅢ判定と診断されています。
　Ⅲ判定トンネルは、トンネルの機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態であるため、次回の定期点検(5年後)までに措置を完了する必要があります。

山岳（矢板）の健全性



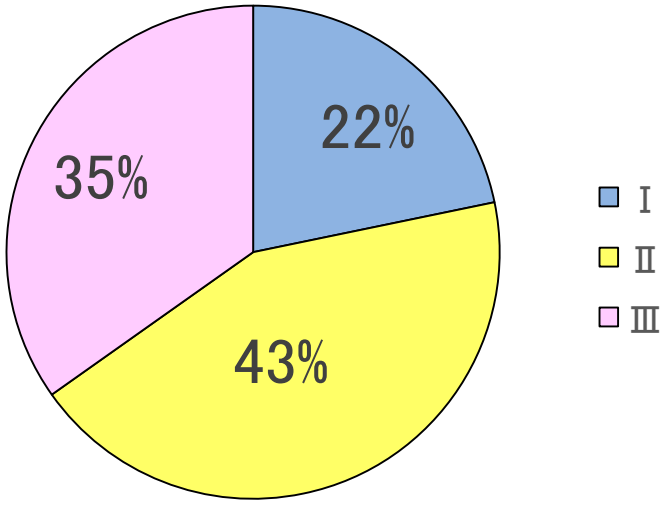
山岳（NATM）の健全性



開削の健全性



その他の健全性



3．管内の道路トンネル点検の状況

(3)高齢化が進む道路トンネルの損傷状況

定期点検の結果、高齢化が進む道路トンネルの損傷が多数確認されています。

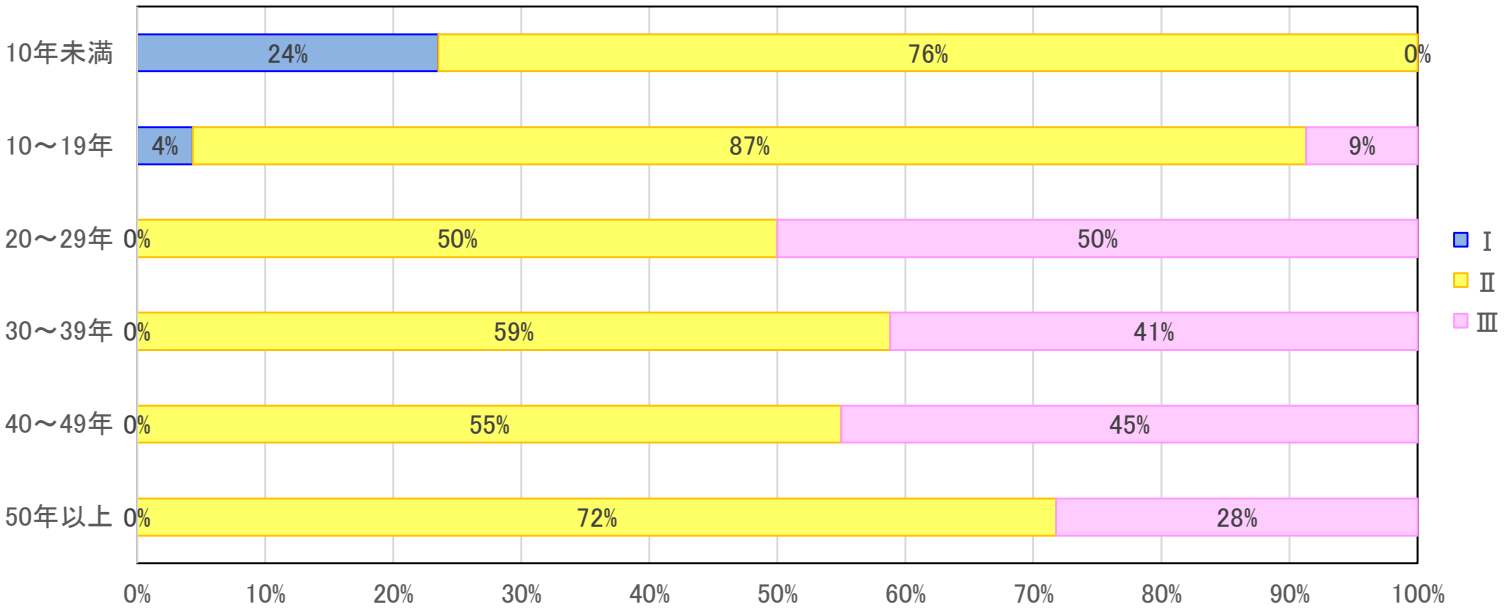
点　検　状　況





高所作業車による近接目視点検

経過年別の健全性分布（道路トンネル数比率）



3．管内の道路トンネル点検の状況

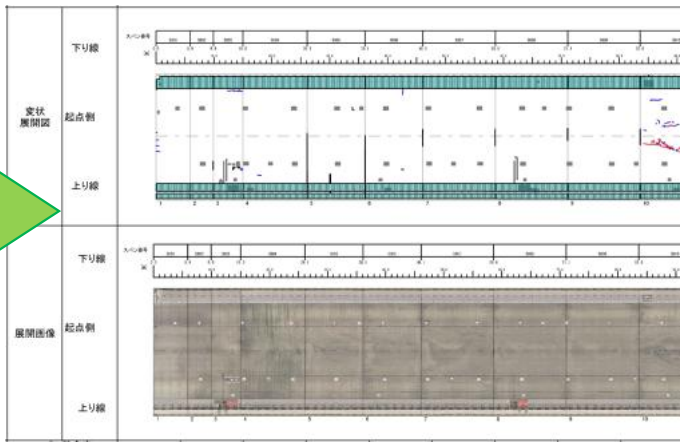
(3)点検支援技術の活用による点検の効率化

令和6年度からの3巡目点検にあたり、点検支援技術を積極的に活用・導入により点検の効率化を推進しています。
各県にて設置のメンテナンス会議を通じて開催している講習会等により点検支援技術の活用促進を図ります。

①点検支援技術



画像計測状況

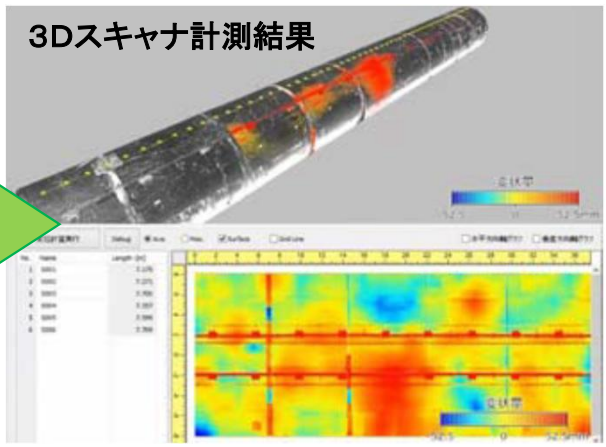


変状展開図と写真展開図

撮影画像からひび割れ等の変状を図化（熊野尾鷲道路　逢神曽根トンネル）



3Dスキャナ計測状況

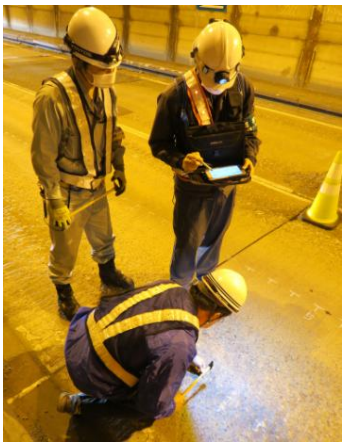


変形状況から外力による影響を把握

3Dレーザースキャナによる断面変形の把握（国道41号　大原山トンネル）



アーチ部調査状況

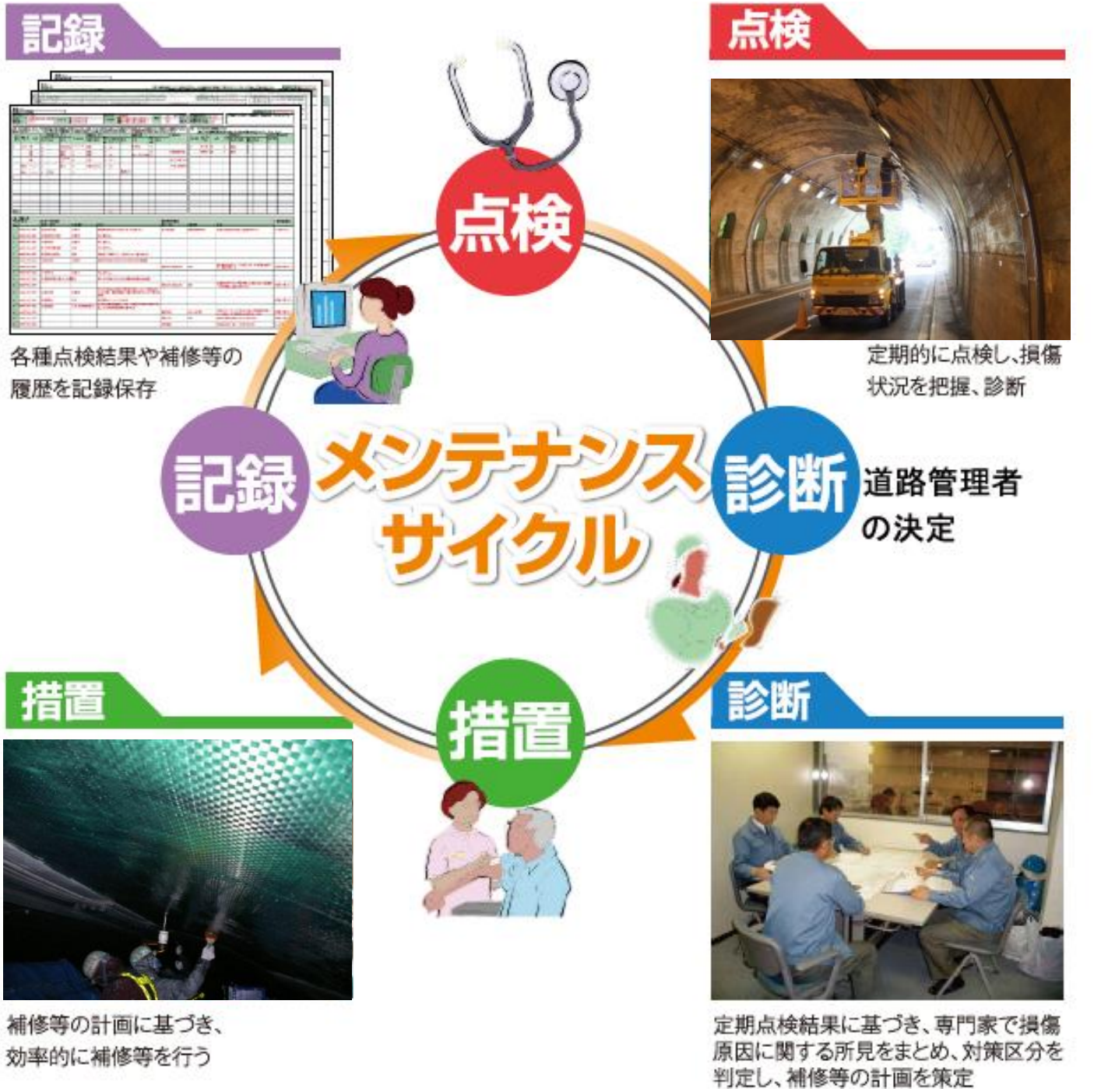


路面調査状況

デジタル打音検査によるコンクリート内部や背面の状態把握（国道41号　大原山トンネル）

4．道路トンネルのメンテナンスサイクルの基本的な考え方

点検は、維持管理を行う上での重要な第一歩です。
点検から始まる、診断、措置、記録というメンテナンスサイクルを構築し持続的に推進してまいります。
今後さらに維持管理・更新費用の増加が見込まれることも踏まえ、メンテナンスサイクルの推進により効率的・効果的な維持管理を実施してまいります。

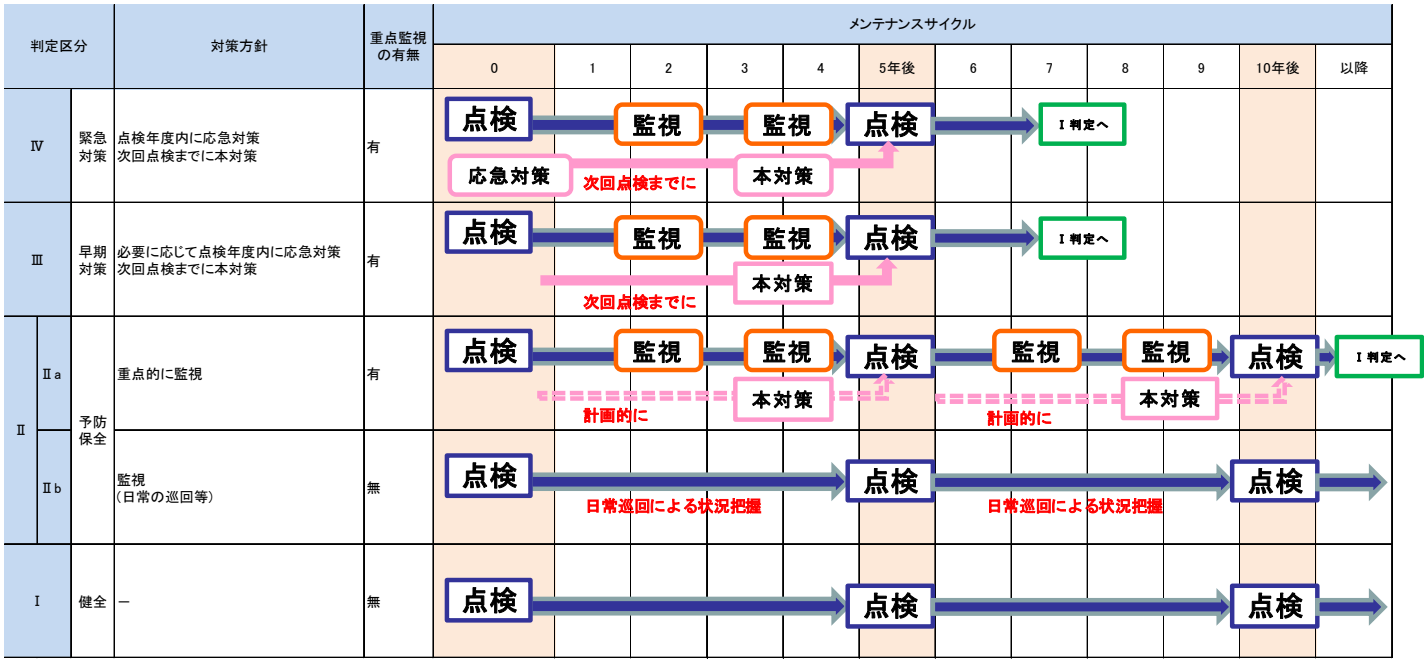


5．個別施設計画の基本方針

◆「個別施設計画」とは

①中部地方整備局管内全ての直轄道路トンネル149本について個別施設計画を策定し、効率的・効果的な維持管理を実施することで、道路トンネルの長寿命化を図ります。

②個別施設計画は、令和7年度までに実施した道路トンネル定期点検結果の基礎データを基に、令和8年度から令和12年度までの計画として策定しています。ただし、定期点検により毎年新たに対策が必要な道路トンネルが発見されるため、個別施設計画は最新の点検結果に基づき毎年度見直す必要があります。



5. 個別施設計画の基本方針

◆優先順位の考え方

①点検結果に基づき、効率的な維持及び修繕が図られるよう必要な措置を講じます。

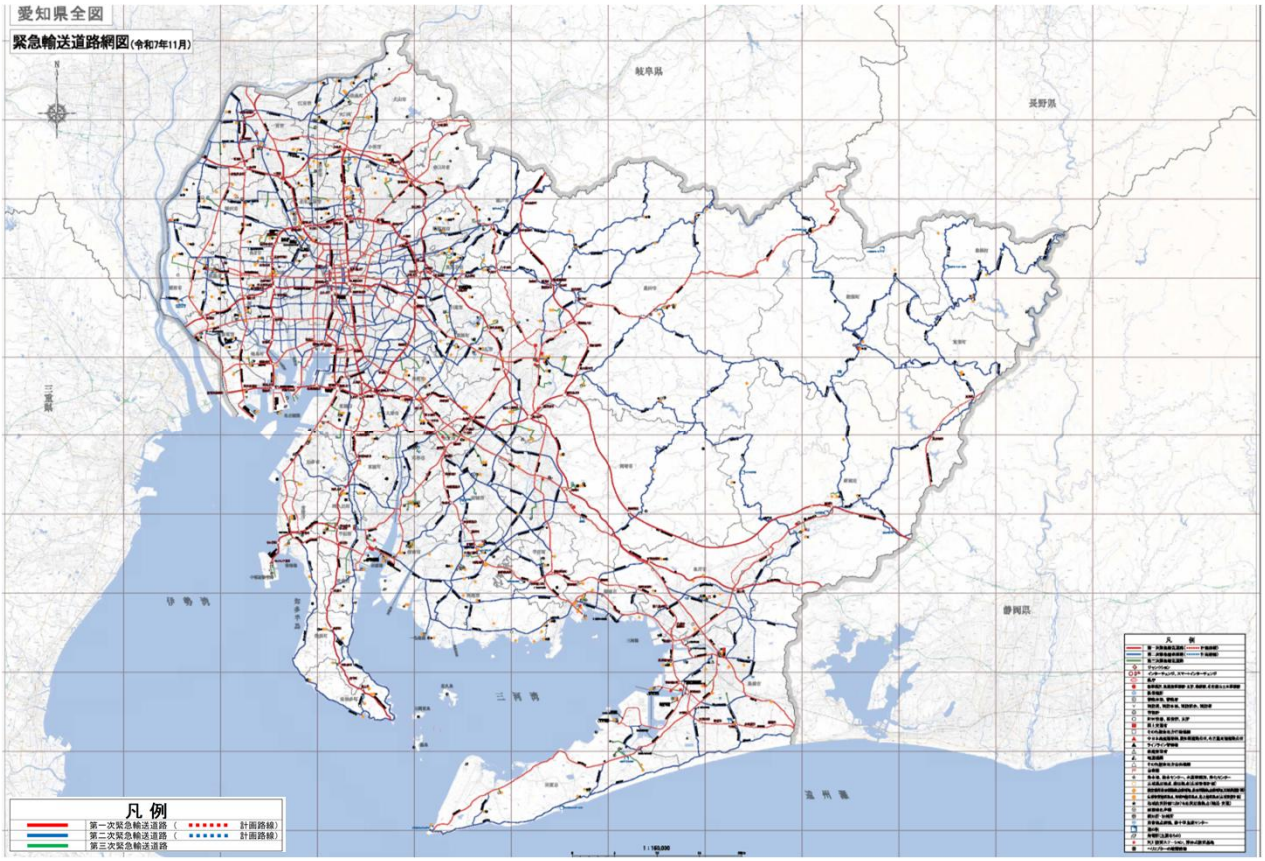
②対策の優先順位は、損傷程度や損傷位置からみる施設の健全性、迂回の可否または難易からみるネットワークの重要性、緊急輸送道路の指定状況等から総合的に判断します。

対策の優先順位

優先順位：高 → 低

トンネル名	路線名	健全性	ネットワークの重要性
○○トンネル	国道○号	×	高
▲▲トンネル	国道▲号	△	高
◇◇トンネル	国道◇号	△	低
●●トンネル	国道●号	○	高
△△トンネル	国道△号	○	低
…	…	…	…

※『健全性』は、損傷程度（判定区分）や損傷位置（第3者への影響）の観点から設定
※『ネットワークの重要性』は迂回の可否・難易で設定



例　愛知県の緊急輸送道路網図（R7.11）

※愛知県HPより

6. 個別施設計画

・基本方針に基づき、個別施設計画を作成し、計画的に対策を実施します。
・毎年度、新たな点検結果と対策の実施状況を踏まえ適宜、計画のフォローアップを行います。

令和8年10月末時点

○トンネル

凡例（○点検・修繕着手 ◎架替 ×撤去 △移管）

管理事務所名	トンネル名	路線名	建設年度	延長(m)	所在地 都道府県名	所在地 市区町村名	点検実施年度	判定区分	修繕内容(予定も含む)（架替・撤去）	R8年度(2026年度) 点検	R8年度(2026年度) 修繕	R9年度(2027年度) 点検	R9年度(2027年度) 修繕	R10年度(2028年度) 点検	R10年度(2028年度) 修繕	R11年度(2029年度) 点検	R11年度(2029年度) 修繕	R12年度(2030年度) 点検	R12年度(2030年度) 修繕	備考
多治見砂防国道事務所	内津トンネル（上り）	国道19号	1992	570.0	岐阜県	多治見市	2023	II						○						
多治見砂防国道事務所	内津トンネル（下り）	国道19号	1970	571.0	岐阜県	多治見市	2023	II						○						
岐阜国道事務所	揖山トンネル	国道21号（岐阜南部横断ハイウェイ）	2007	245.0	岐阜県	加茂郡坂祝町	2023	II						○						
岐阜国道事務所	鵜沼・坂祝トンネル	国道21号（岐阜南部横断ハイウェイ）	2007	1857.0	岐阜県	加茂郡坂祝町	2023	II						○						
岐阜国道事務所	笹尾山トンネル	国道21号	1988	323.5	岐阜県	関ケ原町	2021	III	剥落防止、路面補修	○										R7修繕完了
岐阜国道事務所	七宗第1トンネル	国道41号	1973	226.0	岐阜県	加茂郡七宗町	2024	II								○				
岐阜国道事務所	七宗第2トンネル	国道41号	1977	468.0	岐阜県	加茂郡七宗町	2022	III	剥落防止			○	○							
岐阜国道事務所	七宗第4トンネル	国道41号	1982	377.0	岐阜県	加茂郡七宗町	2022	III	剥落防止			○	○							
岐阜国道事務所	岩戸トンネル 下	国道156号	1989	818.0	岐阜県	岐阜市	2022	II					○							
岐阜国道事務所	岩戸トンネル 上	国道156号	2007	805.0	岐阜県	岐阜市	2024	II								○				
岐阜国道事務所	舟伏山トンネル	国道156号	2012	1001.0	岐阜県	岐阜市	2023	II						○						
岐阜国道事務所	金花トンネル	国道156号	1964	220.0	岐阜県	美濃市	2025	II	剥落防止、漏水対策									○		R5修繕完了
岐阜国道事務所	頭陀トンネル	国道156号	1965	200.0	岐阜県	美濃市	2025	III	漏水対策									○	○	
岐阜国道事務所	三日市トンネル	国道156号	1965	209.0	岐阜県	郡上市	2025	II										○		
岐阜国道事務所	名津牧トンネル	国道156号	1994	291.0	岐阜県	郡上市	2025	II										○		
岐阜国道事務所	吉野トンネル	国道156号	1967	215.0	岐阜県	郡上市	2021	III	剥落防止、漏水対策	○										R7修繕完了
岐阜国道事務所	油坂第1トンネル	国道158号	1965	847.2	岐阜県	郡上市	2025	II										○		
岐阜国道事務所	油坂第2トンネル	国道158号	1996	1600.0	岐阜県	郡上市	2021	III	剥落防止、漏水対策、路面補修	○										R7修繕完了
岐阜国道事務所	油坂第3トンネル	国道158号	1964	914.0	岐阜県	郡上市	2022	III	漏水対策			○	○							
岐阜国道事務所	越美連国	国道158号	1967	1076.0	岐阜県	郡上市	2022	III	剥落防止			○	○							
岐阜国道事務所	坂祝1号トンネル	国道21号（岐阜南部横断ハイウェイ）	2015	288.0	岐阜県	加茂郡坂祝町	2021	I		○										
岐阜国道事務所	坂祝2号トンネル	国道21号（岐阜南部横断ハイウェイ）	2015	287.0	岐阜県	加茂郡坂祝町	2021	I		○										
高山国道事務所	金山トンネル	国道41号	1965	217.0	岐阜県	下呂市	2022	II				○								
高山国道事務所	下呂トンネル	国道41号	1977	1232.0	岐阜県	下呂市	2024	II					○	○						
高山国道事務所	小坂久々野トンネル	国道41号	2013	1511.0	岐阜県	下呂市	2025	II								○				
高山国道事務所	大洞山トンネル	国道41号	1977	281.4	岐阜県	高山市	2025	II										○		
高山国道事務所	丸草山トンネル	国道41号	1978	387.2	岐阜県	高山市	2024	III	漏水対策工			○		○						
高山国道事務所	高山国府トンネル	国道41号	2013	3259.0	岐阜県	高山市	2023	II					○							
高山国道事務所	初山トンネル	国道41号	1967	426.0	岐阜県	飛騨市	2025	III	漏水対策工									○	○	
高山国道事務所	板山トンネル	国道41号	1989	819.0	岐阜県	飛騨市	2025	II											○	
高山国道事務所	見星山トンネル	国道158号（中部縦貫自動車道）	2007	1544.0	岐阜県	高山市	2024	II						○						
高山国道事務所	蒲尾トンネル	国道158号（中部縦貫自動車道）	2007	1089.0	岐阜県	高山市	2024	III	はく落防止対策工			○	○			○				
高山国道事務所	清見八日町トンネル	国道158号（中部縦貫自動車道）	2007	1272.0	岐阜県	高山市	2024	III	はく落防止対策工			○				○				
高山国道事務所	小鳥トンネル	国道158号（中部縦貫自動車道）	2004	4346.0	岐阜県	高山市	2022	II		○										
高山国道事務所	下原トンネル	国道41号	2015	343.0	岐阜県	下呂市	2021	II		○										
高山国道事務所	宮峠トンネル	国道41号	2018	1863.0	岐阜県	高山市	2025	II										○		
高山国道事務所	上野第一トンネル	国道158号（中部縦貫自動車道）	2018	460.0	岐阜県	高山市	2022	II				○								
高山国道事務所	上野第二トンネル	国道158号（中部縦貫自動車道）	2018	320.0	岐阜県	高山市	2022	II				○								
静岡国道事務所	稲積山トンネル（上り）	国道1号	1996	534.0	静岡県	静岡市葵区	2025	III	はく落防止対策工、漏水対策工、附属物補修							○	○			
静岡国道事務所	稲積山トンネル（下り）	国道1号	2011	537.0	静岡県	静岡市葵区	2025	II									○			
静岡国道事務所	丸子第4トンネル（上り）	国道1号	1988	2027.0	静岡県	静岡市葵区	2024	II						○						
静岡国道事務所	宇津ノ谷トンネル（下り）	国道1号	1965	881.0	静岡県	静岡市駿河区	2024	II						○						
静岡国道事務所	宇津ノ谷トンネル（上り）	国道1号	1959	862.0	静岡県	静岡市駿河区	2024	II						○						
静岡国道事務所	岡部トンネル（下り）	国道1号	1968	303.0	静岡県	藤枝市	2024	III	はく落防止対策工、漏水対策工、附属物補修					○	○					
静岡国道事務所	岡部トンネル（上り）	国道1号	1975	264.7	静岡県	藤枝市	2024	II						○						
静岡国道事務所	潮トンネル	国道1号	1978	298.0	静岡県	藤枝市	2023	II	はく落防止対策工、漏水対策工、断面修復工、内装板工、舗装打換え工			○	○							
静岡国道事務所	時ケ谷トンネル	国道1号	1979	371.0	静岡県	藤枝市	2023	II					○							
静岡国道事務所	原トンネル	国道1号	1978	701.0	静岡県	藤枝市	2023	II					○							
静岡国道事務所	舟場トンネル	国道52号	1967	57.0	静岡県	静岡市清水区	2023	II					○							
静岡国道事務所	丸子第5トンネル（下り）	国道1号	2016	2041.0	静岡県	静岡市葵区	2023	II					○							
静岡国道事務所	谷稲葉トンネル	国道1号	1981	1355.0	静岡県	藤枝市	2022	II		○								○		
静岡国道事務所	東光寺トンネル	国道1号	1980	333.0	静岡県	島田市	2023	II		○								○		
静岡国道事務所	波田トンネル	国道1号	1978	231.0	静岡県	島田市	2022	II		○								○		
沼津河川国道事務所	旭山トンネル	国道246号	1968	268.0	静岡県	駿東郡小山町	2025	II										○		
沼津河川国道事務所	湯井トンネル	国道246号	1969	403.0	静岡県	駿東郡小山町	2025	II	路面 補修									○		
沼津河川国道事務所	大久保トンネル	国道246号	1969	253.0	静岡県	駿東郡小山町	2025	II	路面 補修									○		
沼津河川国道事務所	山中城1号トンネル	国道1号（笹原山中バイパス）	2015	78.0	静岡県	三島市	2022	II					○							
沼津河川国道事務所	山中城2号トンネル	国道1号（笹原山中バイパス）	2015	78.0	静岡県	三島市	2022	II					○							
沼津河川国道事務所	日向トンネル	天城北道路	2014	230.0	静岡県	伊豆市	2023	II						○						
沼津河川国道事務所	牧野トンネル	天城北道路	2015	1243.0	静岡県	伊豆市	2023	II						○						
沼津河川国道事務所	雲金トンネル	天城北道路	2017	1016.0	静岡県	伊豆市	2023	II						○						
沼津河川国道事務所	久保トンネル	天城北道路	2017	199.0	静岡県	伊豆市	2023	II						○						
沼津河川国道事務所	河津橋トンネル	国道414号	2022	1874.8	静岡県	河津町	2022	II					○							
浜松河川国道事務所	三遠名号トンネル	国道474号（三遠南信自動車道）	2010	1056.0	愛知県	新城市	2022	II					○							
浜松河川国道事務所	三遠大島トンネル	国道474号（三遠南信自動車道）	2008	172.0	愛知県	新城市	2022	II					○							
浜松河川国道事務所	三遠トンネル	国道474号（三遠南信自動車道）	2009	4525.0	愛知県	新城市	2023	II		○						○				
浜松河川国道事務所	笠井トンネル	国道474号（三遠南信自動車道）	2008	1598.0	静岡県	浜松市北区	2022	II					○							
浜松河川国道事務所	熊倉トンネル	国道474号（三遠南信自動車道）	2007	948.0	静岡県	浜松市	2023	II						○						
浜松河川国道事務所	牧の原第一トンネル	国道1号	1970	195.7	静岡県	島田市	2023	II				○	○	○		○				
浜松河川国道事務所	牧の原第二トンネル	国道1号	1970	310.7	静岡県	島田市	2023	II				○		○	○					
浜松河川国道事務所	牧の原第三トンネル	国道1号	1970	510.7	静岡県	島田市	2023	II					○			○		○		○
浜松河川国道事務所	小夜の中山トンネル	国道1号	1971	170.0	静岡県	掛川市	2023	II				○								
浜松河川国道事務所	小夜の中山トンネル旧	国道1号	1965	265.6	静岡県	掛川市	2023	II				○	○							
浜松河川国道事務所	ことのまつトンネル	国道1号	1998	181.0	静岡県	掛川市	2023	II						○						
浜松河川国道事務所	浜川・泉坂トンネル	国道474号（佐久間連絡）	2016	3436.0	静岡県	浜松市	2023	II					○							
浜松河川国道事務所	川合トンネル	国道474号（佐久間連絡）	2017	2488.0	静岡県	浜松市	2023	II						○						
浜松河川国道事務所	三遠道路1号トンネル	国道474号	2023	642	愛知県	新城市	2024	II						○						
浜松河川国道事務所	三遠道路2号トンネル	国道474号	2022	438	愛知県	新城市	2024	II						○						
浜松河川国道事務所	三遠道路3号トンネル	国道474号 三遠道路	2022	3566	愛知県	新城市	2023	II		○								○		
浜松河川国道事務所	三遠道路4号トンネル	国道474号	2023	843.2	愛知県	新城市	2024	II						○						
名古屋国道事務所	北山トンネル（上り）	国道19号	1995	311	愛知県	春日井市	2024	II								○				
名古屋国道事務所	北山トンネル（下り）	国道19号	1994	271	愛知県	春日井市	2024	II								○				
名古屋国道事務所	坂本トンネル	国道23号（名豊道路）	2011	371	愛知県	蒲郡市	2023	II						○						
名古屋国道事務所	神ノ郷トンネル	国道23号（名豊道路）	2012	373	愛知県	蒲郡市	2023	III	断面修復				○	○						
名古屋国道事務所	坂野トンネル	国道23号（名豊道路）	2010	490	愛知県	蒲郡市	2022	II						○						
名古屋国道事務所	足助トンネル	国道153号	2007	678	愛知県	豊田市	2024	II								○				
名古屋国道事務所	観音山トンネル	国道153号	2007	345	愛知県	豊田市	2024	II								○				
名古屋国道事務所	伊勢神トンネル	国道153号	1980	1245	愛知県	豊田市	2024	III	剥離機構シート			○				○	○			
名古屋国道事務所	城山トンネル	国道153号	1977	135	愛知県	豊田市	2024	II								○				
名古屋国道事務所	大野瀬トンネル	国道153号	1997	888	愛知県	豊田市	2024	III	断面修復							○	○			
紀勢国道事務所	前坂トンネル	国道42号	1967	175	三重県	度会郡大紀町	2024	II								○				
紀勢国道事務所	東長島トンネル	国道42号	1968	259	三重県	北牟婁郡紀北町	2024	II								○				
紀勢国道事務所	長島トンネル	国道42号	1965	491	三重県	北牟婁郡紀北町	2025	II										○		
紀勢国道事務所	長島歩道トンネル	国道42号	1978	573.1	三重県	北牟婁郡紀北町	2023	II						○						
紀勢国道事務所	江ノ浦トンネル	国道42号	1965	378.0	三重県	北牟婁郡紀北町	2024	II								○				
紀勢国道事務所	古里トンネル	国道42号	1965	233.0	三重県	北牟婁郡紀北町	2024	II								○				
紀勢国道事務所	古里歩道トンネル	国道42号	1967	208.2	三重県	北牟婁郡紀北町	2023	II						○						
紀勢国道事務所	道瀬トンネル	国道42号	1965	359.0	三重県	北牟婁郡紀北町	2025	III	断面修復工									○	○	
紀勢国道事務所	道瀬歩道トンネル	国道42号	1977	308.0	三重県	北牟婁郡紀北町	2025	II											○	
紀勢国道事務所	三船トンネル	国道42号	1965	420.0	三重県	北牟婁郡紀北町	2025	III	裏込注入工									○	○	
紀勢国道事務所	尾鷲トンネル	国道42号	1965	806.0	三重県	北牟婁郡紀北町	2024	II								○				
紀勢国道事務所	矢ノ川トンネル	国道42号	1967	2076.0	三重県	尾鷲市	2024	II								○				
紀勢国道事務所	弓山トンネル	国道42号	1967	137.0	三重県	尾鷲市	2023	III	裏込注入工				○	○						
紀勢国道事務所	大又トンネル	国道42号	1967	1626.0	三重県	尾鷲市	2024	II								○				

※ 個別施設計画リスト（全施設分）は、別添資料に掲載

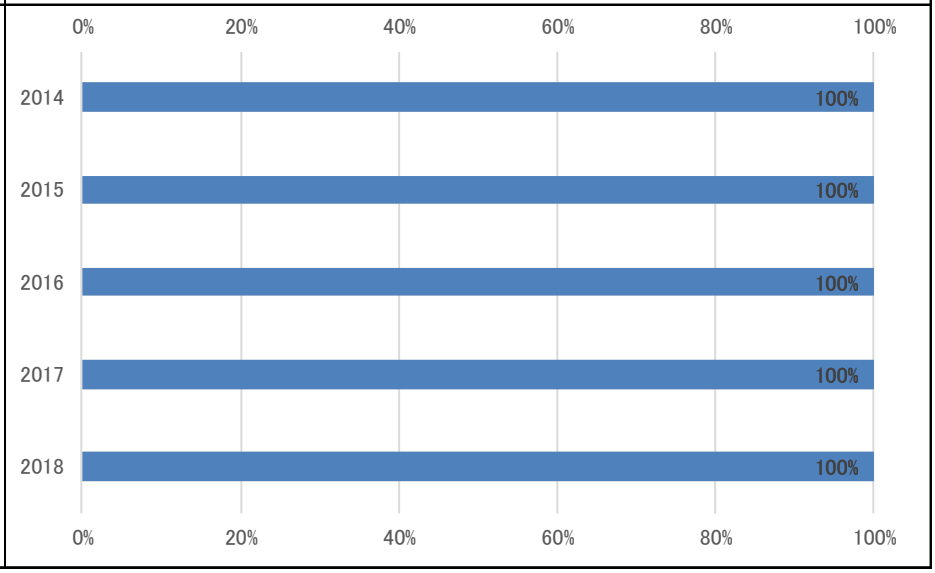
7. 管内の修繕等措置実施状況

◆管内トンネルの修繕等措置実施状況

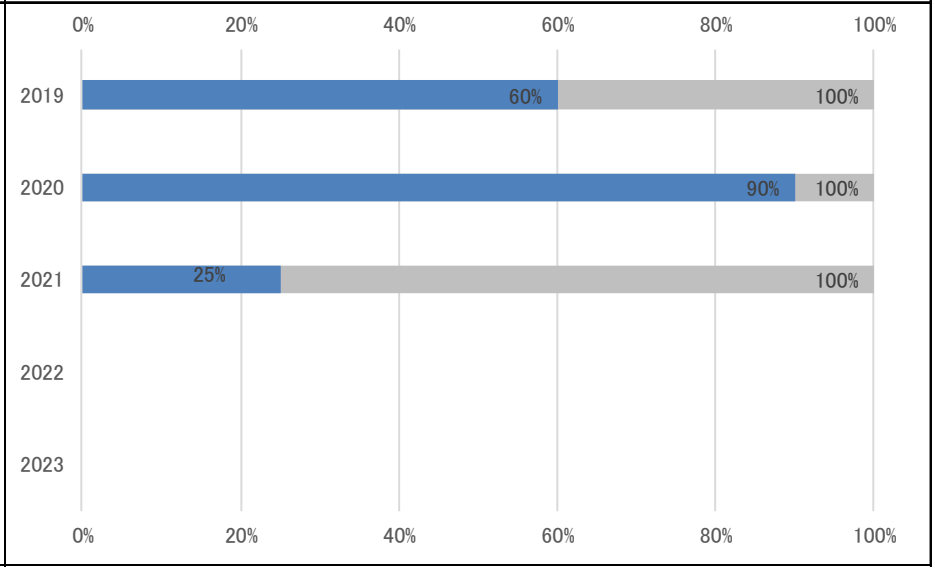
1巡目（2014年度～2018年度）の点検で早期に措置を講ずべき状態（Ⅲ判定）と判定されたトンネルのうち、2025年度末時点で修繕等の措置に着手した割合は100%、措置が完了した割合は100%です。

2巡目（2019年度～2023年度）の点検で早期に措置を講ずべき状態（Ⅲ判定）と判定されたトンネルのうち、2025年度末時点で修繕等の措置に着手した割合は61%、措置が完了した割合は42%です。

○1巡目点検施設における修繕等措置の実施状況

対象施設数 A	着手済み施設数 B	完了済み施設数 C	措置状況
45	45 （ 100% ）	45 （ 100% ）	

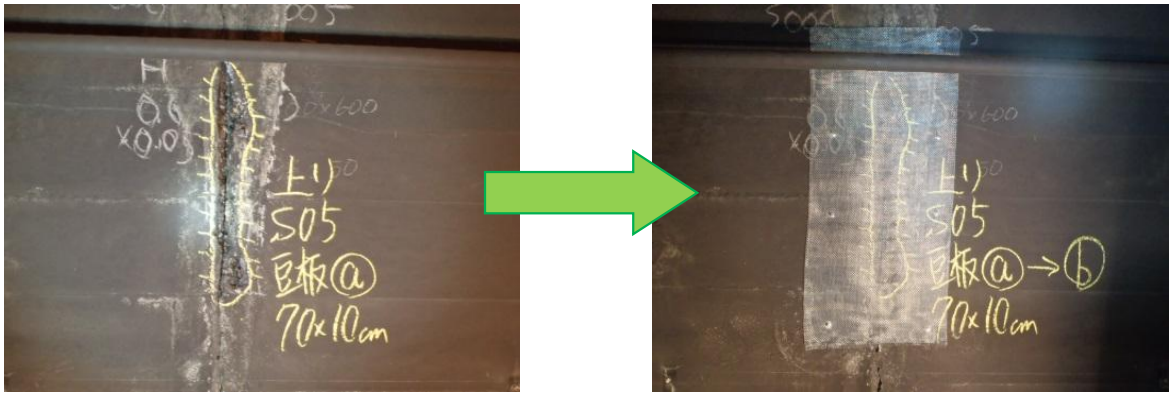
○2巡目点検施設における修繕等措置の実施状況

対象施設数	着手済み施設数	完了済み施設数	措置状況
31	19 （ 61% ）	13 （ 42% ）	

8. 具体的な補修事例

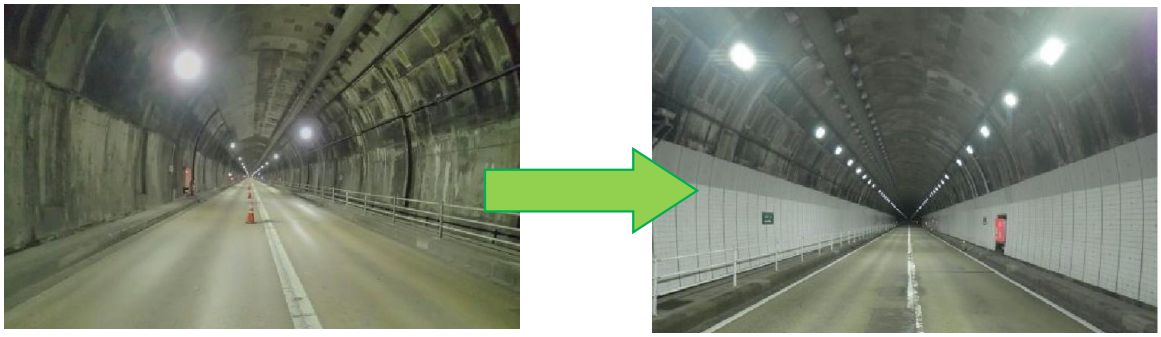
対策には、短期的に道路トンネルの機能を維持することを目的とした「応急対策」と中～長期的に道路トンネルの機能を回復・維持することを目的とした「本対策」があります。
健全性の診断に基づき、効率的な維持及び修繕が図られるよう、必要な措置を実施します。
材質劣化よるコンクリートのはく落に対してはネットエを、ひび割れからの漏水に対しては導水エを施工することで、道路トンネル機能を維持しています。

アーチ部豆板箇所のはく落防止対策（金網・ネットエ）



補修前　　補修後

アーチ部漏水箇所の漏水対策（導水工）



補修前　　補修後